

令和4年度予算編成基本方針について

現在、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染の収束が期待されるところであるが、引き続き感染拡大の防止策を講じ、社会経済活動を早期に正常化させていくことが求められている。今後、国や県の動向を見据え、新型コロナウイルス感染症による経済的影響等を克服し、SDGsの考えに基づき、市の持続可能な発展に向け、環境と経済の好循環による取組みを展開していかねばならない。

社会全体が過去に類を見ない大きな変革時期を迎えた今、行政においても、各種課題や市民ニーズに対応すべく、短期的のみならず、中長期的な視点を持って、『働くまちから 働いて暮らすまちへ 「職住近接」を実現するため、令和4年度予算編成を次により進めるよう通知する。

1 予算編成の基本的な考え方 ～ 取組むべき重点施策 ～

第6次湖西市総合計画の2年目となる令和4年度の予算編成は、施策と予算の連結をより強固なものにし、施策の実効性を高め、デジタル化や脱炭素化などの新たな行政課題にも機動的かつ柔軟に対応するため、次に掲げる5つの戦略とそれらに基づく施策を優先的に取組むものとする。

《 令和4年度に取組む5つの戦略 》

【総合計画：戦略①】 安全・安心 医療、福祉	①津波防災対策 ②新型コロナウイルス感染症対策 ③新消防庁舎の建設及び市役所機能との複合化の推進 ④環境センター再稼動に向けたPFI事業の実施と アメニティプラザへの熱源供給 ⑤BaaSの推進とデマンド型乗合タクシーの利用拡大
【総合計画：戦略②】 結婚、出産 子育て、教育	①放課後児童クラブの充実 ②子ども家庭総合支援拠点の設置 ③教育施設の長寿命化の推進 ④学校給食施設の整備 ⑤パートナーシップ制度の導入
【総合計画：戦略③】 産業	①モノづくり産業の振興 ②アフターコロナの経済支援（商業振興・賑わいの創出） ③土地利活用施策の推進 ④浜名湖西岸土地区画整理事業及び大倉戸茶屋松線整備の推進
【総合計画：戦略④】 交流	①畜産臭気対策 ②新居弁天地域利活用計画の構築 ③市制50周年記念事業の実施 ④新居地域センターホールリニューアル
【総合計画：横断的戦略】	①カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの加速 ②DXの推進

2 予算編成の視点・留意点

(1) 施策及び事業の重点化

- ・総合計画（I期：2021年～2025年）で掲げた施策の推進のため、効果的かつ効率的に事業を進めること
- ・施策の優先順位を明確化した上で、徹底した施策及び重点化を進めること
なお、将来の財政負担を把握し、持続可能な施策とするとともに、財源の確保に最大限努力すること

(2) 事務事業のゼロベースの見直し

- ・全ての事務事業について、事業の効果・必要性・効率性等の検証を必ず行い、改善すべき課題を抽出することにより見直しを行うこと
- ・内部管理事務等を徹底的に見直し、人員削減等に資する業務改善事業を検討するなど、全庁的な働き方改革につながる取組みを推進すること
- ・新規及び拡充事業については、各部長に対して実施する**市長ヒアリング（10月中旬予定）を経てから**予算要求すること
この場合も安易に事業費を増やすことなく、既存事業の廃止・縮小と併せて実施し、必要性、緊急性、後年の負担等を検討し、一般財源への影響を踏まえた上で要求すること
- ・市単独事業及び上乗せ事業（他自治体の実施水準を超えた事業）については必ず拾い出しを実施し、その必要性を強く検討すること（ハード事業についても補助対象以外の部分の精査を行うこと）
なお、市単独事業（ソフト事業）は、国及び県の補助制度の活用の可能性を探るとともに、重点事業以外は、原則、縮小又は廃止を検討すること
- ・補助金及び交付金は、近年、事業費補助への移行と終期設定を指示しているところであり、随時見直しを行うこと

(3) 予算要求の積算精度の向上

- ・執行率で判断するのではなく、予算執行の際、必要不必要を十分に見極め、年度末に予算を使い切る目的で執行することのないよう予算要求をすること
- ・予算流用が多くなっていることから、計上漏れ等による流用が発生しないよう、前年度等の流用状況等を検証し、その結果を予算要求に反映すること
- ・経常経費の中には、年度によって増減するものがあることから、過去の実績等から十分に検討すること

(4) 財源の確保に向けた取組み

- ・市税の滞納額を縮減させる方策を進めること
- ・ふるさと納税寄附金や広告収入などの税外収入の確保に積極的に取り組むこと
- ・負担の公平性の観点から受益者負担の適正化、市有財産の有効活用等を引き続き推進し、新たな財源確保に努めること

(5) 公共施設マネジメントの推進

- ・公共施設の整備、修繕、保全にあたっては、「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設再配置個別計画」に基づいて事業を推進し、特に、中心市街地の活性化等、賑わいの創出に繋がる公共施設の再配置の検討を進めること
- ・施設所管課においては、包括施設管理業務との連携を強化し、効果的かつ効果的な管理を実施すること

3 予算編成方法

- ・一般財源枠配分方式とする。ただし、義務的経費（人件費 01～06 節、公債費、予備費）を除く。
- ・基準額は部単位とし、令和 3 年度予算当初予算を基に臨時的事業費の調整を行う。また、扶助費等を除き調整後の額の原則 2%減（一般財源ベース）を基本とする。
- ・普通建設事業費等においては、別途提示する事業費を基準額とする。
- ・年度によって変動が大きい事業や新規事業で制限設計を今後していくような事業については、個別で抜き出し、別枠として提示する。

《基準額の考え方》

$$\begin{aligned} & \text{基本額 (①)} - \text{2\%減額 (②)} = \text{要求基準額 (課単位) (③)} \\ & \text{要求基準額 (課単位) (③)} + \text{主要事業 (普通建設事業費等) (④)} \\ & = \boxed{\text{当初予算要求基準額}} \end{aligned}$$

① 基本額

令和 3 年度当初予算財源内訳の一般財政額を基に

- ・令和 4 年度以降通年化する事業等の費用を加算済
 - ・令和 3 年度臨時事業（隔年実施を含む）分を減算済
 - ・令和 4 年度予算要求がない見込み（事業終了の事業費等）を減算済
- ※人件費、公債費、主要事業（普通建設事業費等）は別途算出

② 2%減額

扶助費、債務負担行為設定済事業費等を除き、設定した基本額から 2%を減額

③ 要求基準額（課単位）

基本額から一般財源ベース 2%を引く

④ 主要事業（普通建設事業費等）

- ・令和 4 年度要求基準額（課単位）とは別に、事業と一般財源を提示
- ・市債については、財政課と要協議

以上

湖西市における令和4年度の重点施策

★…目玉事業

【総合計画：戦略①】安全・安心、医療、福祉

(公共交通、防災、交通安全・防犯、消防・救急、地域医療、健康、福祉、廃棄物・上下水道、道路)

★①津波防災対策

- ②新型コロナウイルス感染症対策
- ③新消防庁舎の建設及び市役所機能との複合化の推進
- ④環境センター再稼働に向けたPFI事業の実施とアメニティプラザへの熱源供給
- ⑤BaaSの推進とデマンド型乗合タクシーの利用拡大

【総合計画：戦略②】結婚、出産、子育て、教育

(結婚・出産・子育て、学校教育、生涯学習・スポーツ振興、共生社会)

★①放課後児童クラブの充実

★②子ども家庭総合支援拠点の設置

- ③教育施設の長寿命化の推進
- ④学校給食施設の整備
- ⑤パートナーシップ制度の導入

【総合計画：戦略③】産業

(モノづくり産業の活性、工業・商業、就業支援、農業・漁業)

★①モノづくり産業の振興

★②アフターコロナの経済支援(商業振興・賑わいの創出)

★③土地利活用施策の推進

- ④浜名湖西岸土地区画整理事業及び大倉戸茶屋松線整備の推進

【総合計画：戦略④】交流

(住環境、移住定住促進、自然環境、観光振興)

★①畜産臭気対策

★②新居弁天地域利活用計画の構築

- ③市制50周年記念事業の実施
- ④新居地域センターホールリニューアル

総合計画：横断的施策

★①カーボンニュートラルの実現に向けた取組の加速

★②DXの推進

【総合計画：戦略①】安全・安心、医療、福祉

★①津波防災対策

<事業>

- 県が行う今切口周辺の既存堤防嵩上げと一体的な腹付盛土に係る実施設計業務委託を行う。
- 周辺住民との意見交換を行い、合意形成を丁寧に図りながら防潮堤整備の方針を決めていく。
- 長期的視野に立った防潮堤整備方針を決定するための計画策定業務委託を行う。

②新型コロナウイルス感染症対策

<事業>

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、引き続き発熱等相談及びPCR検査を継続実施する。

③新消防庁舎の建設及び市役所機能との複合化の推進

<事業>

- 消防庁舎の3署体制を継続し、通信指令装置の更新時期に合わせて、消防本部庁舎を建て替える。
- 防災機能の充実強化を図るため、市関係部局との複合化を検討する。

④環境センター再稼働に向けたPFI事業の実施とアメニティプラザへの熱源供給

<事業>

- 焼却施設及びリサイクルプラザの基幹的改良工事を行う。
- 下水道課と調整し、汚泥受入棟の新設工事を行う。(令和4年度～令和5年度)
- 環境センターの包括管理委託を継続して行う。
- スポーツ・生涯学習課と調整し、アメニティプラザへの熱供給設備改良の設計と工事を行う。改良にあたり、環境省等に対し補助金を交付してもらえるよう協議・要望する。(令和4年度～令和5年度)

⑤BaaSの推進とデマンド型乗合タクシーの利用拡大

<事業>

- BaaS実装に向けた調整を行う。
- デマンド型乗合タクシーを湖西市内全域(駅周辺を除く)へサービスを拡大する。

【総合計画：戦略②】結婚、出産、子育て、教育

★①放課後児童クラブの充実

<事業>

○放課後児童クラブの充実のため、単位数の増設に取り組む。

【岡崎小学校区：2単位】放課後児童クラブ施設建設（工事）

【鷺津・新居地区小学校区：2単位】放課後児童クラブ施設建設（設計・地質調査）

★②子ども家庭総合支援拠点の設置

<事業>

○子どもとその家庭に関する相談及び支援体制の充実を図るため、必要な支援員及び専門員を配置する。（子ども家庭支援員：常時2名以上、虐待対応専門員：常時1名以上）

③教育施設の長寿命化の推進

<事業>

○児童・生徒が安全・安心で快適な教育環境で学習できるよう施設整備を進める。

岡崎小学校トイレ改修工事（工事）、鷺津中学校中校舎長寿命化事業（設計） 他

④学校給食施設の整備

<事業>

○児童・生徒に安全・安心でおいしい給食を安定的に提供していけるよう、施設整備を進める。

⑤パートナーシップ制度の導入

<事業>

○性の多様性に寄り添った取組の推進として、パートナーシップ制度の仕組みづくりを進める。

【総合計画：戦略③】産業

★①モノづくり産業の振興

<事業>

○中小企業が抱える課題を把握し、関係団体、企業の連携を強化する。

★②アフターコロナの経済支援（商業振興・賑わいの創出）

<事業>

○事業者が既存の事業にとらわれず、新たな事業、製品開発等に取り組みやすい環境を整備する。

○空き店舗等を活用した創業支援を実施し、賑わいを創出する。

★③土地利活用施策の推進

<事業>

○「職住近接」及び新たな工業・商業・住宅用地などのニーズに対応する施策を推進する。

- ・新たな工場建設用地及び道路等の開発可能性の調査
- ・立地適正化計画における居住誘導区域の宅地開発の促進

④浜名湖西岸土地区画整理事業及び大倉戸茶屋松線整備の推進

<事業>

○さらなる雇用の拡大や産業振興のため、新たな工業団地を造成し、そのアクセス道路となる大倉戸茶屋松線の整備を進める。

【総合計画：戦略④】交流

★①畜産臭気対策

<事業>

- 各養豚場で臭気を抑制する改善策の実施とその検証のための臭気測定を実施する。
- 畜産臭気を減少させることにより、畜産事業者が安心して経営ができるよう支援を強化する。

★②新居弁天地域利活用計画の構築

<事業>

- 新居弁天地区のプロポーザル事業の具現化へ事業の構築を図る。

③市制50周年記念事業の実施

<事業>

- 職住近接の推進と持続可能な発展を目指し、市制50周年記念事業を実施する。
 - ・記念事業（記念式典、特別事業、冠事業）及びPR事業を着実に実施する。

④新居地域センターホールリニューアル

<事業>

- 文化芸術、社会教育、自治活動等の振興を図るため、バリアフリー化を含め利用しやすい施設への改修を行う。

横断的施策

★①カーボンニュートラルの実現に向けた取組の加速

<事業>

- 環境の保全と社会経済活動が持続可能な湖西市版脱炭素社会の実現を目指す。
 - ・令和5年度までの2ヶ年で地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）を策定する。
 - ・市内事業所におけるカーボンニュートラル実現に向けた取組への支援策を設定する。
 - ・公用車のエコカー（電気自動車）導入を進める。

★②D Xの推進

<事業>

- 業務へのI C T導入を促進し、D X推進個別計画を実践する。
 - ・電子申請の全庁的な推進
 - ・地図情報のウェブ発信強化
 - ・図書館での電子書籍貸し出し
 - ・基幹業務システムの標準化共通化
 - ・R P A / A I の導入促進
 - ・庶務事務（人事管理）システムの導入
 - ・公共施設のW i F i 設置推進
 - ・デジタルデバイド対策